

東京都

TOKYO METROPOLITAN
RESEARCH INSTITUTE
FOR ENVIRONMENTAL PROTECTION

環境科学研究所

2016.3 No.17

NEWS

公開研究発表会の開催!

公開研究発表会の開催に伴い特別講演を北野大先生に講演いただきました。



第21回東京都環境科学研究所公開研究発表会を1月7日に開催しました。

この研究発表会は、都民や企業、自治体職員の方々に東京都環境科学研究所の調査研究の内容や成果を知っていただくことを目的として、平成7年から実施されています。

今年も非常に多くの方のご協力、ご参加をいただき、改めてお礼申し上げます。

今年度の発表テーマは、有害化学物質、東京の水環境、再生可能エネルギー・未利用エネルギー、自動車排ガスに関して発表を行いました。

発表に先立ち、発表テーマの一つである化学物質について、淑徳大学教授北野大先生に特別講演「私たちの身の回りの有害化学物質」をしていただきました。誰にでもわかりやすく、法律による規制、人の健康への影響、有害化学物質に関する条約などのお話をさせていただきました。



CONTENTS

平成27年度公開研究発表会を開催しました
①
第42回環境保全・公害防止研究発表会が
東京で開催されました
②
「東京都と北京市の技術交流・技術協力に
関わる合意書」に基づく技術協力の実施
④

社会人向けテーマ別環境講座を実施しました
⑦
お知らせ
⑧
資料室だより、研究所一般施設公開、公開研究発表会

🌿 第42回環境保全・公害防止研究発表会の概要

平成27年12月1日(火)、2日(水)の両日に環境省、全国環境研協議会及び東京都の共催による第42回環境保全・公害防止研究発表会が東京都の文京シビックセンターで開催されました。

研究発表に関しては全国環境研協議会の会員から53題の演題応募があり、大気(18題)、水質(13題)、化学物質(13題)、生物(4題)、廃棄物・土壌(5題)の各セッションが2会場に分かれて研究発表が行われました。

1日目は主催者のあいさつ、続いて特別講演及び研究発表が行われ、2日目は引き続き研究発表が行われました。2日間で会員及び行政機関等から延べ285名の参加があり、盛況のうちに終了しました。

なお、次回は山形県が開催県となり、実施されることになっています。

平成27年 12月1日(火)		文京シビックセンター(小ホール)	
<p>開会(13:30~13:45)</p> <p>【開会あいさつ】 (公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所長 中村 豊</p> <p>【主催者あいさつ】 環境省総合環境政策局環境研究技術室長 太田志津子</p> <p>全国環境研協議会会長 大河内基夫</p> <p>東京都環境局環境政策担当部長 篠原 敏幸</p>			
<p>特別講演(13:50~14:50)</p> <p>【演題】 環境部局による海域の調査研究の在り方について</p> <p>《講師》 牧 秀明 (国立研究開発法人国立環境研究所地域環境研究センター海洋環境研究室)</p> <p>《座長》 大河内基夫 (全国環境研協議会会長) ((地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長)</p>			
<p>研究発表</p>			
A会場(小ホール)		B会場(会議室1,2)	
大気Ⅰ (15:00~16:25)		水質Ⅰ (15:00~16:25)	
大気Ⅱ (16:35~17:43)		化学物質Ⅰ (16:35~17:43)	
<p>平成27年 12月2日(水)</p>			
<p>研究発表</p>			
大気Ⅲ (9:15~10:40)		化学物質Ⅱ (9:15~10:40)	
大気Ⅳ (10:50~11:58)		生物 (10:50~11:58)	
昼食休憩		昼食休憩	
水質Ⅱ (13:00~14:08)		化学物質Ⅲ (13:00~14:08)	
水質Ⅲ (14:18~15:26)		廃棄物・土壌 (14:18~15:43)	
<p>閉会 A会場</p> <p>【閉会あいさつ】 環境省総合環境政策局環境研究技術室長 太田志津子</p> <p>【次期開催県あいさつ】 山形県環境科学センター所長 澤根 敏弘</p> <p>【開催県閉会あいさつ】 (公財)東京都環境公社東京都環境科学研究所長 中村 豊</p>			



講演会場入口



受付風景



牧秀明氏による特別講演



A会場聴講風景



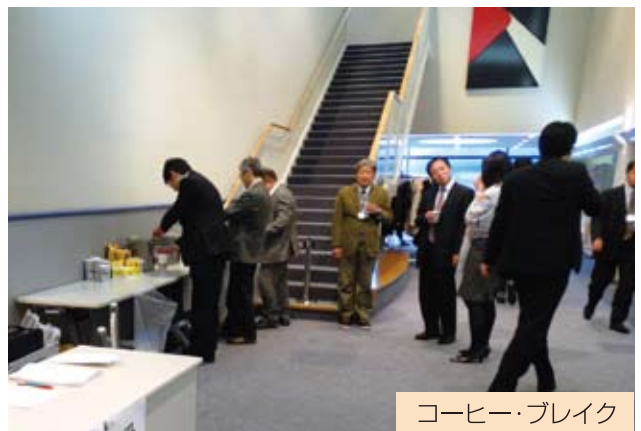
B会場聴講風景



発表する研究者



分科会の運営



コーヒー・ブレイク

活動報告 東京都と北京市の技術交流1 (北京市研究員の受け入れ)

東京都と北京市は環境分野での技術協力を推進しています。その一環として平成27年11月15日から12月14日まで、北京市環境保護科学研究院の大気汚染防止分野の研究院2名を受け入れて、PM_{2.5}やVOC(揮発性有機化合物)の試料の採取や分析の実習を行いました。また、東京都と北京市の相互の研究紹介、都の施設の見学なども行いました。



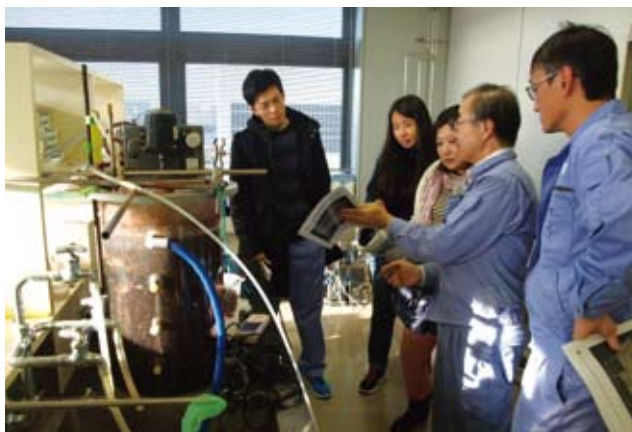
1 所研究員とのディスカッション風景

左奥2名が北京市の研究員です。所内の実験プログラム中は公社職員と同じ服を貸与しました。



2 実験室でのVOC測定

当所研究員が一通り説明した後、北京の研究員が当所の設備を用いて試料の採取と分析を行いました。



3 埋立管理事務所実験設備の見学

都の最終処分場の埋立管理事務所内にある当所の排水処理実験設備を見学しました。写真は排水処理の室内実験装置の説明を受けているところです。



4 コンクリート工場の見学

北京市研究員の希望により都内のコンクリート工場を見学しました。北京市ではコンクリート工場からの粉じん、排ガスが問題になっているそうです。

活動報告 東京都と北京市の技術交流2(北京市環境保護科学研究院の訪問)

東京都と北京市の技術交流の一環として、平成28年1月12日から30日までは当所の大気環境分野の研究員が北京市環境保護科学研究院を訪問しました。交流プログラムは双方の研究紹介、PM_{2.5}の採取、分析、北京市の施設の見学ですが、東京でのプログラムに比べ、ディスカッションに重点が置かれた交流となりました。



1 都の研究、施策紹介のセミナー

左：研究院での研究員向けセミナー、右：環境保護局での行政担当者向けセミナー



2 VOCの分析装置

当所と同じ、キャニスターという捕集容器を用いて採取、分析する方法が使われていました。



3 北京市の清掃工場

清掃工場以外にもリサイクル施設や最終処分場が一体となった施設でした。煙の出していない煙突は建設中の施設です。

東京、北京の双方での長期間訪問、受け入れのプログラムを通じて、お互いの大気環境問題の現状や、研究内容について理解が深まりました。今後も技術交流を継続していくことを確認して、今年度の交流事業を終了しました。



公開研究発表会発表テーマ

1

「都内における微量有害化学物質の環境実態」

分析研究科 加藤 みか

2

「東京の水環境—過去、現在、今後の課題—」

調査研究科 和波 一夫

3

「再生可能エネルギー・未利用エネルギーの活用技術について」

調査研究科 藤原 考行

4

「自動車排出ガス規制と当研究所で
行っている排出ガスの計測について」

調査研究科 上野 広行



詳しい内容は当日配付資料を研究所ホームページに掲載しています。

<http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>



テーマ別環境学習講座

本年度は、第1回を6月4日と10日の2日間、昨年度末に実施し好評であった、「再生可能エネルギーの活用と水素社会の実現に向けて」をテーマに実施しました。

「再生可能エネルギー」、「水素エネルギー」は、現在社会的関心が極めて高く、また環境局のエネルギー政策として積極的に推進している分野であることから、都民に広く知っていただきたい重要テーマと考え、国立大学法人東京工業大学特任教授の森原淳氏等を講師に、具体的な事例として長崎県対馬での実証実験などの話しをしていただき、受講者はおおいに関心を持ったようでした。

第2回は、7月29日と30日の2日間、「東京湾の生き物を探そう」をテーマに、東京湾の生態系、水質、及び外来生物の現状について学び、海の生物多様性について理解を深めていただくため、当研究所の研究員を講師に、講義と葛西海浜公園西なぎさをフィールドに干潟の生き物の生息調査を実際に体感し、東京の干潟の現状を学び、日頃出来ない体験に受講者には好評でした。

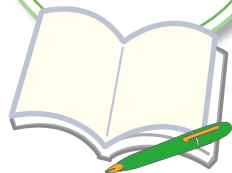
第3回は11月11日、「フードロス対策をはじめよう」をテーマに、断捨離の提唱者である、やましたひでこ氏等を講師に、都庁都民ホールを会場に実施しました。



資料室

・VOL.13・

だより



今回は、新着図書の中から「PM_{2.5}」についてわかりやすく書かれた本をいくつかご紹介いたします。PM_{2.5}とは何なのか？人や植物に対してどのような影響があるのか？私たちがPM_{2.5}について様々な疑問を持った時に、これらの本から多くの正確な情報を得ることができます。

●「みんなが知りたいPM_{2.5}の疑問 25」

畠山史郎 三浦和彦編著 成山堂書店 平成26年5月発行
平成25年1～3月の中国における高濃度のPM_{2.5}汚染は、日本においても大きな問題となりました。その際、日本エアロゾル学会が、学会のホームページに専門家によるPM_{2.5}のQ & Aを掲載しました。本書は、このQ & Aをベースに、PM_{2.5}の発生、影響、対策等についてより詳細に、平易に解説しています。

●「越境する大気汚染 中国のPM_{2.5}ショック」

畠山史郎著 PHP研究所 平成26年1月発行（PHP新書907）
中国でますます深刻化する大気汚染。本書では、PM_{2.5}の問題を手がかりに、大気汚染の問題、大気中の微粒子の問題について、その発生・変質・輸送・沈着のプロセスや、植物や人間の健康に与える影響などについて紹介しています。とりわけ中国から日本に大気中の微粒子が運ばれる間、どのような変質過程をたどるのか、その様子を詳しく紹介しています。

●「最新図解 PM_{2.5}と大気汚染がわかる本」

饒村曜著 オーム社 平成25年11月発行
PM_{2.5}を含む大気汚染物質の基礎知識、世界と日本の大気汚染の歴史、観測技術、国際的な取り組みについて、本書ではわかりやすく解説しています。

●「知っておきたいPM_{2.5}の基礎知識」

日本環境衛生センター編 平成25年5月発行
SPMやPM_{2.5}環境問題の発生経緯、PM_{2.5}の組成と動態、発生機構と主要な発生源、我が国への越境汚染の影響、健康影響、環境基準の設定等、PM_{2.5}の基礎的な知識を科学的にわかりやすく解説しています。

◎資料室だよりVOL.11の書名の一部に誤りがありましたので、訂正いたします。

（誤）地球温暖化の辞典→（正）事典 （誤）地球温暖化はどれくらい「怖い」ことなのか？→（正）「怖い」か？

お知らせ

東京都環境科学研究所

平成28年

一般公開

7月23日(土)
予定



● 研究所施設の見学(研究員が説明します)

● 自動車排ガス実験施設の見学

● やさしい化学実験 ほか

● 年に1度の研究所一般公開♪
皆様のご来場をお待ちしております！
詳細は、HP等でお知らせします。

平成28年度 公開研究発表会

平成28年

12月15日(木) 予定

場所

東京都庁
都民ホール

● 記事へのご意見がございましたら下記へお寄せ願います。

【発行】東京都環境局総務部環境政策課

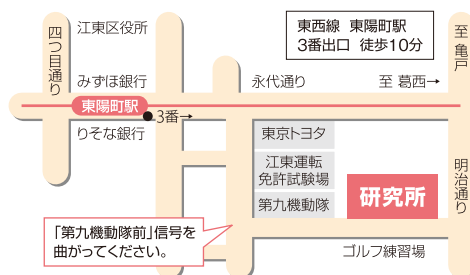
〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
TEL 03 (5688) 34261 (ダイヤルイン)

【編集】公益財団法人 東京都環境科学研究所

東京都環境公社
〒136-0075 東京都江東区新砂一丁目7番5号
TEL 03 (3699) 1331(代) FAX 03 (3699) 1345
2015年12月発行
メールアドレス/kanken@tokyokankyo.jp

平成27年度
登録第108号
環境資料第27071号

ホームページ <http://www.tokyokankyo.jp/kankyoken/>



「第九機動隊前」信号を
曲がってください。

270

古紙配合率70%

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。白色度85%再生紙を使用しています。

リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。